

[1]

[2]

[3] 精密誘導爆弾「プリシジョン・ガイドド・ミューニションズ」(PGM)の実践訓練飛行へようこそ。この訓練では LITENING- II ターゲティング・ポッド (TGP) を使って、地上ターゲットに対するレーザー誘導及び衛星誘導爆弾による攻撃練習を行う。オートパイロットで高度と方位を維持している。速度が 200kts 以上を保つようスロットルを管理してくれ。

開始準備が整ったら SPACE BAR を押してくれ。

[4] A-10C には次の 2 種類の PGM が装備できる：レーザー誘導爆弾「レーザー・ガイドド・ボム」(LGB)、慣性補助兵器「イナーシャリー・エイデッド・ミューニション」(IAM) だ。

LGB は LITENING- II ターゲティング・ポッド (TGP) や、他の陸・空の機器に搭載されたレーザー照射器によって「色付け」されたターゲットが反射した、レーザーエネルギーに狙いを定める。これは友軍同士で一方が照射を行い、一方がそれを利用して攻撃するという「バディ・レイズ」を可能にする。

A-10C が持ち運べるレーザー式 GBU (誘導爆弾ユニット) には、GBU-10 と GBU-12 がある。これらは Paveway- II LGB キットを装着した Mk-84 及び Mk-82 無誘導汎用爆弾に必要不可欠だ。Paveway- II LGB キットは爆弾の頭部にレーザー探知機と、後部に展張式コントロール・フィンを追加するものだ。

軽い方である GBU-12 の有利な点は、トリプル・イジェクター・ラック (TER) に 3 発装備したものを、ステーション 3、4、8、9 に搭載できることだ。

SPACE BAR を押して次に進もう。

[5] A-10C が持ち運べる IAM には、統合直接攻撃弾「ジョイント・ディレクテッド・アタック・ミューニション」(JDAM) と、風向修正弾薬ディスペンサー「ウィンド・コレクテッド・ミューニションズ・ディスペンサー」(WCMD、「ウィクミド」と呼ばれる) がある。

Paveway- II と同じように、JDAM は Mk-82 及び Mk-84 無誘導爆弾を GBU 化したものだ。JDAM の場合は GPS 受信機を使ってターゲットと自分の位置を測定する。衛星ナビゲーションの利点は、光学システムと違って天候状態に左右されないことだ。しかもこれはパッシブ型であり、「打ちっぱなし」が可能なため、複数のターゲットを一度に相手にすることが出来る。

A-10C には GBU-31 2000lbs. JDAM と、GBU-38 500lbs. JDAM が装備できる。

SPACE BAR を押して次に進もう。

[6] CBU-103 WCMD は、CBU-87 クラスター爆弾を WCMD 化したものだ。自律的にターゲットへ誘導できるように、慣性航法システム（INS）が追加されている。JDAM と同じように、パッシブ型の武器であるため、「打ちっぱなし」にできる。

では、DSMS で我々のペイロードを確認しておこう。左 MFCD の OSB-14 を押せ。

[7]

[8] 我々はステーション 4 と 8 に GBU-12 を 2 発、ステーション 5 と 7 に GBU-38 を 2 発積んでいる。それから、ステーション 2 に LITENING- II ターゲティングポッド（TGP）、ステーション 11 に訓練用 AIM-9M を 2 発積んでいる。

OSB-1 を押してプロファイル・メイン・ページを開け。

[9] OSB-19 を押して GBU-12 プロファイルにサイクルし、OSB-3 を押してプロファイル・コントロール・ページを開け。

[10] OSB-10 を押してデフォルトのプロファイルを CCRP に変更しろ。それから OSB-16 を押してプロファイル・セッティング・ページを開け。

[11] OSB-6 の AUTO LS（オート・レイズ）ロータリーからは、レーザー照射の自動か手動かを選択できる。ON にセットされていると投下後に自動的にレーザーが照射される。OSB-17 の LSTIME セッティングでは、着弾までレーザー照射を行う秒数を設定する。0 にセットされていると、レーザーは照射されない。予測される落下時間よりも大きい数値にセットすると、レーザーは投下直後から照射される。

オート・レイズが OFF にセットされている場合、レーザーは HOTAS ノーズホイール・ステアリング・ボタンまたは INSERT を使ってパイロットによって手動で照射される。TGP の LATCH オプションも OFF にセットされている場合、ノーズホイール・ステアリング・ボタンが押されている間だけレーザーは照射される。

OSB-16 の SOLN（ソリューション）ロータリーでは、CCRP リリース時のソリューション・キューを ORP（オプティカル・リリース・ポイント）と BAL（バリスティック・リリース・ポイント）から選択できる。

OSB-6 でオート・レイズを入れろ。LSTIME を 10 秒にセットしろ。UFC スクラッチパッドで「10」と入力したあと OSB-17 を押せばよい。

OSB-3 を押してこのプロファイルの変更をセーブしろ。

[12] OSB-19 を押して GBU-38 プロファイルにスイッチし、OSB-3 でプロファイル・コントロール・ページを見よう。

[13] もうプロファイル・コントロール・ページは見慣れたものだな。OSB-16 でプロファイル・セッティング・ページを見よう。

[14] 見ての通り、GBU-38 のプロファイル・セッティングに特殊なオプションはない。

OSB-15 を押して左 MFCD を TAD ページにしよう。

[15] A-10C からの PGM の投下は比較的分かりやすい。やらなければいけないことは、ターゲットの位置をセンサー・ポイント・オブ・インタレスト（SPI）に指定し、CCRP モードで投下するだけだ。

まずは右 MFCD の OSB-2 を押して、TGP をエア・トゥ・グラウンド（A-G）モードにセットしろ。

[16] 一般的に、ターゲットを 2 時か 10 時の方向に見据えながら交戦準備を行うのがベストだ。でなければ、攻撃設定が整ったところにはターゲットを通り越してしまっているというリスクがある。今回の場合、射爆場はウェイポイント 4（「RANGE」）と同じ場所にある。このウェイポイントを TGP をターゲットに向ける目印に使える。

ウェイポイント 4（「RANGE」）をステアポイントにセットしろ。

[17] では HOTAS チャイナハット FORWARD（ロング）コマンドか、V を長押しして全センサーを SPI に集中させろ。

[18] 目標の射爆場を目視で見てみろ。TGP は長距離を見渡せるが、一般的に目視索敵のためには 20 マイル以内にいるべきだろう。

HOTAS クーリーハット RIGHT（ロング）コマンドか、K を長押しして TGP を SOI にしろ。

[19] HOTAS チャイナハット FORWARD（ショート）コマンドか、V を押してフィールド・オブ・ビュー [視野]（FOV）を狭くしろ。

[20] ターゲット・エリアをより大きく見たいときは、HOTAS DMS UP コマンドか HOME を長押ししてズームすることが出来る。

[21] 最初のターゲットは射爆場の南東の隅にあり、RED スモークでマークされている。HOTAS スルーコントロールか、キーボードの「;」 「,」 「.」 「/」を使って TGP をターゲットに向ける。

クロスヘアをターゲットに合わせたら、HOTAS TMS UP コマンドか、左 CTRL+ ↑を押して TGP を AREA トラックモードにしろ。同じコマンドで TGP を POINT トラックモードにできる。

[22] HOTAS TMS UP（ロング）コマンドか、左 CTRL+ ↑を長押しして、ターゲットポイントを SPI にしろ。

[23] 射爆場へアプローチするにあたって、左 MFCD の OSB-14 を押して DSMS ページを開こう。

[24] UFCのSEL DOWN ロッカーキーを押してGBU-12プロファイルを選択し、HUDがCCRPモードになっていることを確認しろ。

[25] オートパイロットOFF。ユー・ハブ・コントロール。

CCRPレティクルのプロジェクテッド・ボム・インパクト・ライン〔予測着弾線〕（PBIL）がアジマス・ステアリング・ライン〔方位指向線〕（ASL）に重なるように機体を操縦しろ。リリース・ポイントまでおよそ20秒になったとき、ソリューション・キューと一緒にタイム・トゥ・リリース・ニューメリック（TTRN）がASLの一番上に現れる。リリース5秒前になると、ソリューション・キューとTTRNがCCRPレティクルに向かってASLを下り始める。この時点でウェポン・リリース・ボタンを押し続けなければならない。すると、ソリューション・キューがレティクルを通過すると同時に爆弾が分離される。

[26] 右MFCDの右下のコーナーと、HUD左側の速度の下に表示される予測着弾時間のカウントダウンをモニターしろ。クロスヘアはターゲットに合わせたままだ。

[27] ナイス・ヒット！

少し距離をとってから、今度はGBU-38を使って2回目のパスを行おう。UFCでもう一度SELロッカーを押し、GBU-38プロファイルを選択しろ。

[28]

[29] 2つ目のターゲットは射爆場北西の隅にある。今REDスモークでマークされた。TGPをターゲットに移し、ゆっくりと左旋回して2回目のパスへ準備しろ。

ターゲットをSPIにマークし、AREAかPOINTトラックモードで追跡を開始しろ。

[30] IAMのリリース・インジケーションはLGB CCRPリリースと似ている。最大レンジと最小レンジを示すレンジ・キャレットがレティクル内に表示される。リリース・ポイントに近づくと、ASLがHUDを下りてきて、レティクルのレンジ・バーが縮み始める。レンジ・バーがレティクルの最大レンジ・キャレットと最小レンジ・キャレットの間に来たら、爆弾が分離されるまでウェポン・リリース・ボタンを押し続けろ。ウェポン・リリース・ボタンを早く離しすぎるとハング・ストア・エラーが起きてしまうかもしれない。

[31] 2つ目のターゲットに命中した！

[32] これで精密誘導弾の使用訓練を終わる。

あと1つずつGBU-12とGBU-38が残っているので、練習するといい。